

環境経営レポート

【2024年度版】

対象期間：2024年1月1日～2024年12月31日



第一化学工業株式会社



認証番号 0006871



発行日:2025年3月12日

目次

事業の概要	2・3
環境経営方針	4
環境管理責任者及び氏名・環境経営システム組織図	5
環境経営システムの組織・役割	6
エコアクション 21 取組と SDGs	7
環境経営目標(中長期)	8
今年度の環境経営目標と実績	9
環境経営目標と実績・環境経営活動計画と取組結果・次年度取組内容	10～22
環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反、訴訟等の有無・代表者による全体の評価と見直し	23
第一化学工業株式会社の主な取り組み・環境経営活動	24～26
その他	27・28
第一化学工業株式会社の SDGs・おわりに	29

はじめに

2024 年は、新型コロナウイルス感染症もようやく落ち着き、全世界的にコロナ禍前に戻る事を期待していましたが、ロシア・ウクライナ情勢やパレスチナ問題など景気に影響を及ぼしそうな問題が続く中、原材料やガソリン・電気料金などの高騰・従業員の賃上げなどの社会問題が企業を圧迫し、更なる危機感を感じます。

従業員が働きやすい職場環境づくりや周辺住民とのコミュニケーション・社会貢献や環境貢献に更に取り組み SDGs17 の目標を達成できる企業としての努力を日々つづけ、脱炭素・カーボンニュートラルの活動に邁進してまいります。

硬質クロムめっきは、化学物質を多く使用しておりますが、弊社では取り扱いなどリスクアセスメントを基本とし、全従業員に周知の徹底のための教育をしています。



代表取締役 泉 三弘



事業の概要

事業所名及び代表者氏名

第一化学工業株式会社
代表取締役社長 泉 三弘

所在地

〒115-0051
東京都北区浮間5-7-9

連絡先

TEL:03-3966-2476
FAX:03-3966-2494
Eメール:info@daiichi-kagaku.com

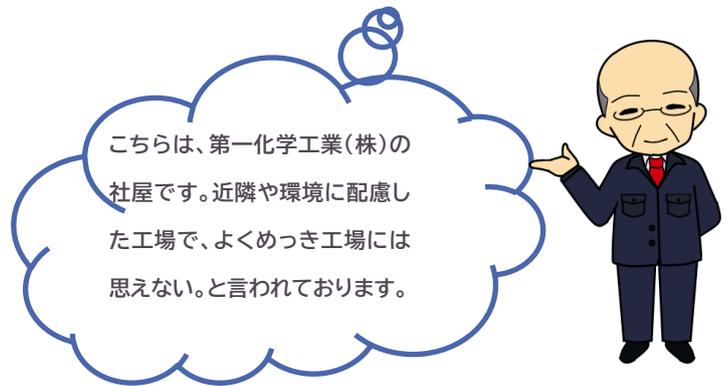


資本金

2,000 万円

設立

1963 年(昭和 38 年)1 月



事業の規模

	単 位	2022 年 (2022 年 1 月~2022 年 12 月)	2023 年度 (2023 年 1 月~2023 年 12 月)	2024 年度 (2024 年 1 月~2024 年 12 月)
主要製品の出荷額	百万円	153	150	156
従業員数	人	18	19	19
敷地面積	m ²	239.04	239.04	239.04
延べ床面積	m ²	356.93	356.93	356.93
作業場面積	m ²	121.85	121.85	121.85

対象範囲は、組織の概要に記載した全組織・全活動・全従業員を対象に活動しています。

行動宣言

1. 当社は、お客様のご信頼にお応えし最高の製品・最良のサービスをご提供します。
2. 当社は、常に新しい技術の開発に挑戦しお客様のお役に立てることを喜びとして日々研鑽努力を続けます。
3. 当社は、共生する社会の一員として法令および社会の規範を守り誠実に業務を遂行します。
4. 当社は、地域社会の発展に貢献するとともに地球環境の保護にも積極的に取り組みます。

事業内容

表面処理事業(硬質クロムめっき)

高品質・高精度！全国どこからでも1個より処理のご依頼をいただいております。

寸法公差内での処理が可能。多彩なマスキング技術で内径めっきや部分めっきも対応しております。また、電気めっき特有の花咲きを独自の電極技術で解決しており、「めっき処理後の工程は不要！無駄な費用は掛けさせない！」が弊社のポリシーです。お客様の生産性向上・コストダウンに貢献することを最大の使命と考えています。

なお、お客さまからのご要望で、硬質クロムめっき処理には欠かせないバフ研磨も対応しています。



【硬質クロムめっき処理】

弊社では、クロムめっき槽を7槽設置しています。各めっき槽ごとに担当者が決まっており、担当者が責任を持ってめっき槽の管理をしています。1点1様で治具を製作し、高品質のめっき処理でお客様のご要望にお応えします。まさに、電極技術者の達人！

【寸法測定検査】

弊社は、寸法公差のある製品は、めっき処理前の加工寸法を測定し、めっきの膜厚を決定します。めっき処理後には、全数を測定し精度の確保をしてからお客様に納品いたします。マイクロメーター・インナーマイクロメーター・膜厚測定器など準備をしています。



【マスキング処理】

弊社では、多種多様なマスキング剤を駆使して部分めっきの処理に対応しています。内径めっきや加工時に削り過ぎた部分にめっき処理を施すなど用途はさまざまですが、お客様のご要望にお応えしています。

【バフ研磨】

弊社では、バフ研磨職人がお客様のご要望に応えるべくバフと研磨剤を上手く組み合わせてバフ研磨の作業を行っています。金型やレール部品などの製品部(流動部)にバフ研磨を施し硬質クロムめっき処理することで、離型性・耐摩耗性が向上します。



【硬質クロムめっき処理後の製品(スクリュー)】

スクリュー部に硬質クロムめっき処理を施すことにより離型性・耐摩耗性が向上し、作業効率が上がり、また、長持ちすることで経費削減になります。

第一化学工業株式会社 環境経営方針

<環境経営基本理念>

第一化学工業株式会社は、地球環境保全が人類共通の最重要課題であることを認識し、企業活動を通じ全従業員で継続的に地球環境の保全に積極的に努めます。

<基本方針>

第一化学工業株式会社は、表面処理事業(硬質クロムめっき)含め事業活動を行う中で常に環境への影響を意識し、環境経営基本理念に基づき全員参加で環境保全活動に取り組みます。

1. 製品不良率を削減し環境負荷を削減、顧客満足度の向上に努めます。

製品不良率を削減する事で、電気使用量・化学物質使用量・廃棄物排出量を削減・時間外労働時間削減。更に顧客満足度の向上に結び付け、売上向上を目指します。

2. 法規制・条例・政令その他の要求事項を遵守し、環境汚染の予防に努めます。

3. 環境保全を目指し、下記の目標に基づき企業活動を行います。

また、定期的に見直しを行います。

- ① 製品不良率を削減し環境負荷削減、顧客満足向上に努めます。
- ② 二酸化炭素排出量削減に努めます。
- ③ 化学物質の徹底管理を行い環境汚染ゼロに努めます。
- ④ 廃棄物の3R活動に努めます。
- ⑤ 水使用量削減に努めます。
- ⑥ 時間外労働時間削減に努めます。

4. 環境経営方針を達成させるために全従業員の環境への認識を高め、教育訓練を実施し 地球環境の保全に取り組みます。

5. 地域・社会との協調をはかり、積極的な情報開示とコミュニケーションを行います。

制定日 2010年7月28日

改定日 2020年4月3日

第一化学工業株式会社
代表取締役社長 泉 三弘

環境管理責任者氏名及び担当者

【代表者】代表取締役：泉 三弘

【環境管理責任者】総務部部長環境管理課 加藤 せつ子

【二酸化炭素排出量削減リーダー】営業部 青山 雄

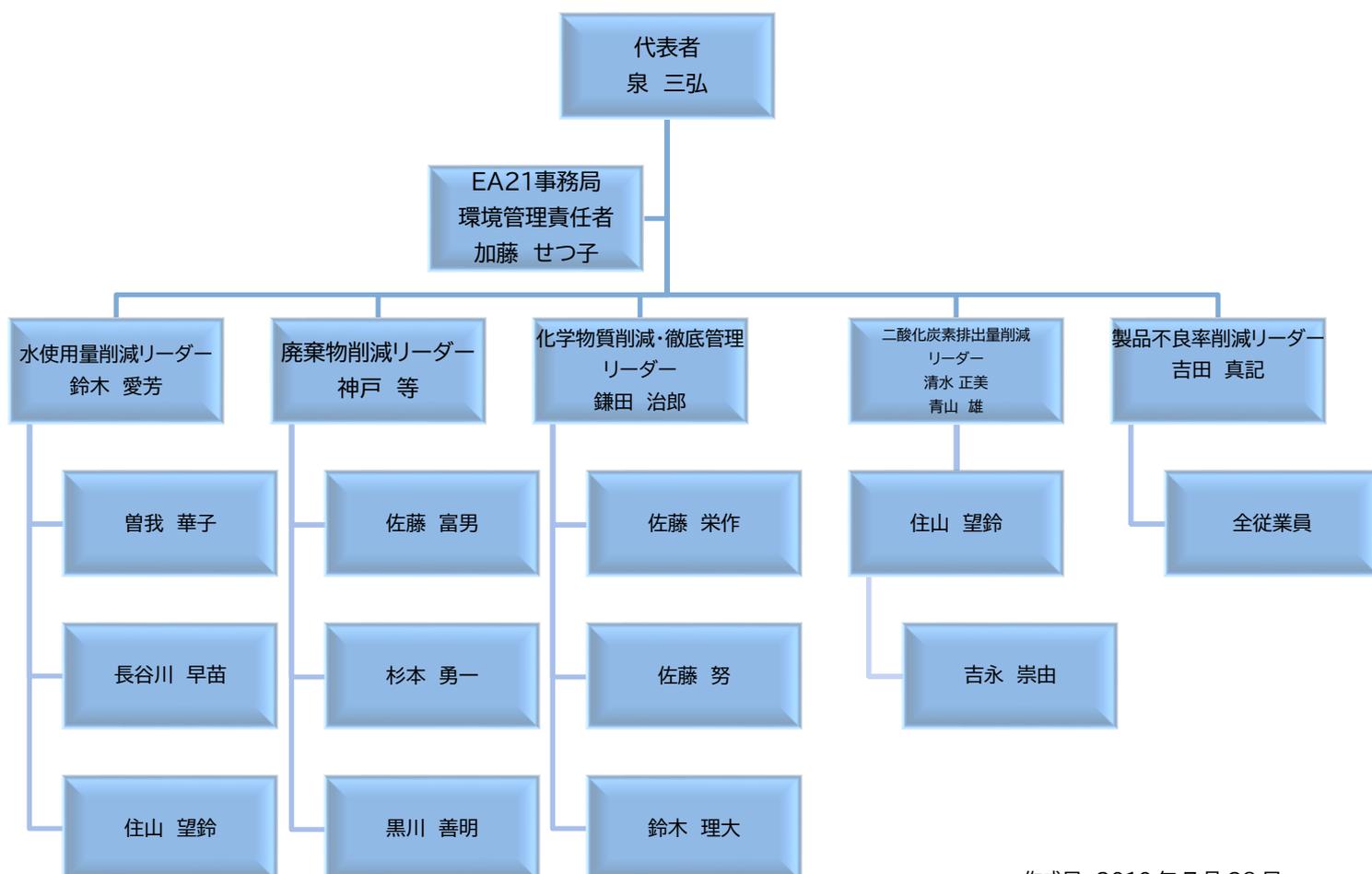
【化学物質使用量削減・徹底管理リーダー】製造部めつき課課長 鎌田 治郎

【廃棄物削減リーダー】製造部研磨課係長 神戸 等

【水使用量削減リーダー】製造部検査課課長 鈴木 愛芳

【製品不良率削減リーダー】工場長 吉田 真記

環境経営システム組織図



作成日 2010年7月28日

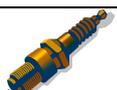
改正日 2023年5月1日

	役割・責任・権限
<p>代表者 泉 三弘</p>	1.環境経営に関する統括責任者
	2.効果的で必要十分な実施体制を構築する
	3.代表者による全体の評価と見直しを実施
	4.実施体制においては、各自の役割・責任及び権限を定め全従業員に周知する
	5.環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知
	6.「課題とチャンス」の明確化
	7.エコアクション 21 取組における全責任・権限
	8.エコアクション 21 を運用し、維持するための経営資源を用意する
<p>エコアクション 21 事務局 環境管理責任者 加藤 せつ子</p>	1.環境経営推進の事務局・取組における権限
	2.環境経営目標・環境経営計画書・実績表の作成
	3.環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	4.環境経営レポートの作成
	5.全社の環境関連の掲示物等の作成・掲示
	6.各リーダーへの提案・相談の窓口
	7.各手順書の見直し・作成など外部提出書類の作成全般
	8.環境関連書類の保管
<p>各リーダー 青山 雄・神戸 等 鈴木 愛芳・鎌田 治郎 吉田 真記・清水 正美</p>	1.各担当チームのテーマ推進
	2.各チームにおける環境経営システムの実施
	3.環境経営目標及び環境経営計画の実施、その達成状況の報告
	4.環境経営におけるチェックリストの記録・運用管理
	5.各チームの問題点の発見・是正・予防処置
	6.各手順書の見直し・提案
<p>全従業員</p>	1.環境経営方針を理解し、環境への取組の重要性を自覚
	2.環境経営システムへの参加
	3.環境関連全般においての提案
	4.緊急事態訓練・社内講習の参加
	5.外部講習・環境セミナーへの参加・報告レポート提出

エコアクション 21 取組と SDGs

取組事項	炭素削減	電力による二酸化	自動車燃料による二酸化炭素削減	一般廃棄物の削減	産業廃棄物の削減	特別産業廃棄物の削減	水使用量の削減	化学物質使用量の削減(徹底管理)	製品不良率の削減	時間外労働時間の削減
							○		○	○
	○	○			○	○		○		
									○	○
									○	○
										
					○	○	○	○	○	○
	○	○							○	○
									○	○
									○	
										○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○						○	
	○	○	○	○					○	○
				○	○	○	○		○	
	○	○	○	○	○	○		○	○	
									○	○
									○	

環境経営目標(中長期)

環境負荷項目 / 年度		基準年度	2024年	2025年	2026年
	二酸化炭素排出量(kg-CO ₂ 年)(現場作業所)	67,367	63,999	60,631	57,262
	【電気】 2023年度基準	100%	95%	90%	85%
	二酸化炭素排出量(kg-CO ₂ 年)(事務所)	1,694	1,609	1,525	1,440
	【電気】 2023年度基準	100%	95%	90%	85%
	二酸化炭素排出量(kg-CO ₂ 年)	1,960	1,862	1,764	1,666
【ガソリン】 2023年度基準	100%	95%	90%	85%	
	一般廃棄物排出量(t/年)(事務系)	7.200	6.840	6.480	6.120
	2023年度基準	100%	95%	90%	85%
	産業廃棄物排出量(t/年)(金属クズ等)	0.250	0.238	0.225	0.223
2023年度基準	100%	95%	90%	80%	
	特別管理産業廃棄物排出量(t/年)(廃フィルター等)	0.300	0.285	0.270	0.255
	2023年度基準	100%	95%	90%	85%
	特別管理産業廃棄物排出量(t/年)(クム酸・塩酸廃液)	11.390	10.821	10.251	9.682
	2023年度基準	100%	95%	90%	85%
	水使用量(m ³ /年)	594	564	535	505
	2023年度基準	100%	95%	90%	85%
	化学物質使用量・徹底管理(kg/年)(無水クロム酸)	550	523	495	468
	2023年度基準・実績把握・徹底管理(○・×)	○	→	→	→
	化学物質使用量・徹底管理(kg/年)(ホワイトガソリン)	711	675	640	604
	2023年度基準・実績把握・徹底管理(○・×)	○	→	→	→
	化学物質使用量・徹底管理(kg/年)(ディップソール)	54	51	49	46
	2023年度基準・実績把握・徹底管理(○・×)	○	→	→	→
	課題とチャンス(時間/年)(時間外労働時間の削減)	836	794	752	711
	2023年度基準	100%	95%	90%	85%
	製品不良率削減(件/年)	5	5	5	4
	2023年度基準	100%	95%	90%	85%

*CO₂ 排出係数は、2019年東京ガスの調整後排出係数 0.364 kg-CO₂/kwh を使用した。

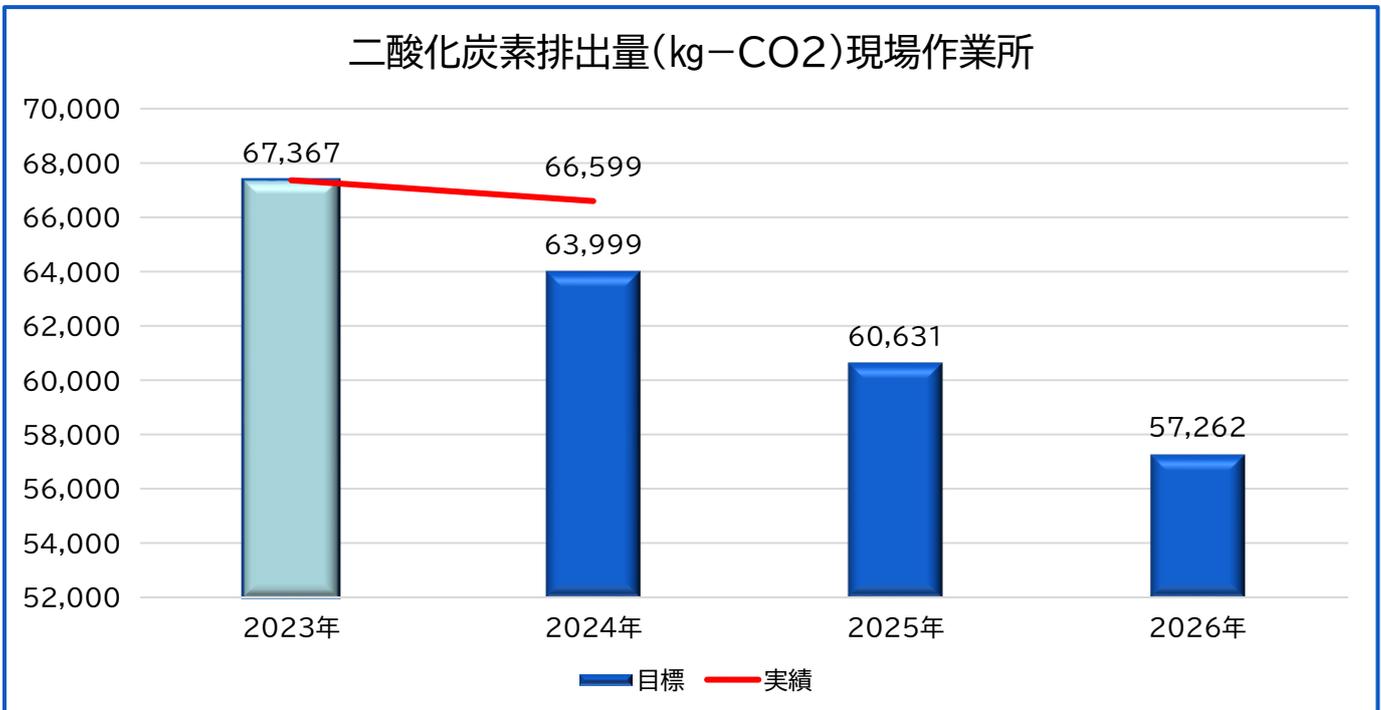
今年度の環境経営目標と実績

環境負荷項目／年度		基準年度	目標	実績	達成状況
	二酸化炭素排出量(kg-CO2)電気	67,367	63,999	66,599	
	【現場作業所】2023 年度基準(%)	100%	95%	99%	
	二酸化炭素排出量(kg-CO2)電気	1,694	1,609	1,678	
	【事務所】2023 年度基準(%)	100%	95%	97%	
	二酸化炭素排出量(kg-CO2 年)ガソリン	1,960	1,862	5,056	
	2023 年度基準(%)	100%	95%	271%	
総量 (灯油・LPG 含む)	72,159.56	68,551.582	74,341.43		
		100%	95%	103%	
	一般廃棄物排出量(t/年)	7.200	6.840	7.335	
	2023 年度基準(%)	100%	95%	102%	
	産業廃棄物排出量(t/年)	0.250	0.238	0.150	
	2023 年度基準(%)	100%	95%	63%	
	特別管理産業廃棄物排出量(t/年)	0.300	0.285	0.115	
	【廃フィルター等】2023 年度基準(%)	100%	95%	40%	
	特別管理産業廃棄物排出量(t/年)	11.390	10.821	10.490	
	【加硫酸・塩酸廃液】2023 年度基準(%)	100%	95%	97%	
	特別管理産業廃棄物排出量(t/年)	47.830	45.439	39.660	
	【アルカリ廃液】2023 年度基準(%)	100%	95%	83%	
	水使用量(m ³ /年)	594	564	568	
	2023 年度基準(%)	100%	95%	96%	
	化学物質使用量(kg/年)	550	523	568	
	【無水加硫酸】2023 年度基準(%)	100%	95%	103%	
	化学物質使用量(kg/年)	711	675	729	
	【酢酸ガソリン】2023 年度基準(%)	100%	95%	103%	
	化学物質使用量(kg/年)	54	51	24.50	
	【ディソール】2023 年基準(%)	100%	95%	48%	
	課題とチャンス(時間/年)(時間外労働時間の削減)	836	794	702	
	2023 年度基準(%)	100%	95%	84%	
	製品不良率削減(件数)	5	5	4	
	2023 年度基準(件)	100%	95%	80%	

*CO2 排出係数は、2019 年東京ガスの調整後排出係数 0.364 kg-CO2/kwh を使用しました。



【電力による二酸化炭素の排出量の削減(現場作業所)】



*CO2 排出係数は、2019 年東京ガスの調整後排出係数 0.364 kg-CO2/kwh を使用しました。



現場作業所の電灯は全てプルスイッチにし、不要な電灯は必ず消灯して二酸化炭素の排出量の削減に努めています。

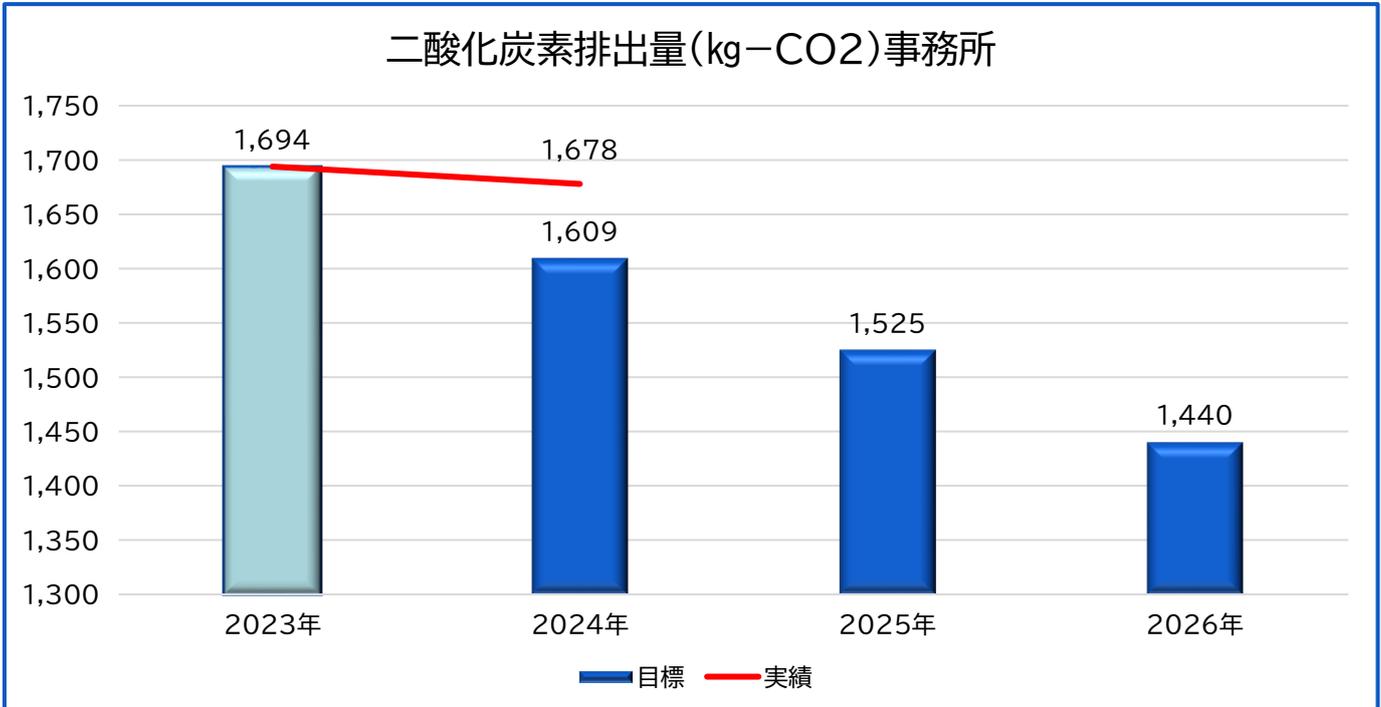


デマンドコントローラを設置しデマンド値を管理し二酸化炭素の排出量の削減に努めています。

環境経営活動計画	結果	取組の評価	次年度取組内容
二酸化炭素排出量の削減(電気・現場作業所)			
作業改善・業務改善の推進	◎	時間短縮で効率を考え実行できた	全取組を継続して実行する。なお、次年度は、現場作業所の電灯を全て LED に変更する。これで全社内が LED になります。更なる削減に全従業員で努めます。
空調機等のフィルターの定期清掃	△	目標の半分しか実行出来なかった	
不要な照明の消灯	◎	ほぼ確実に実行できた	
照明器具の定期的な清掃	×	実行できませんでした	
削減に繋がる社員の意識向上	◎	各自が意識し削減に努めている	

◎…実行できた △…ほぼ実行できた ×…実行出来なかった

【電力による二酸化炭素削減(事務所)】



*CO2 排出係数は、2019 年東京ガスの調整後排出係数 0.364 kg-CO2/kwh を使用しました。

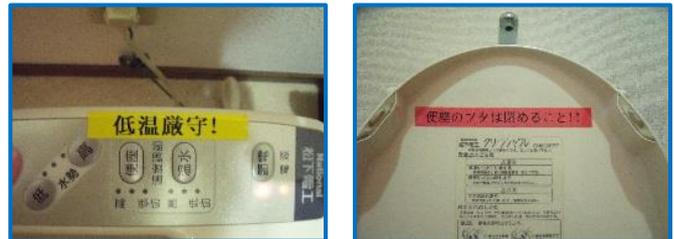
節電ステッカー



コンセントタイマーを必要な箇所に設置



トイレは、低温・便座の蓋は閉める！！

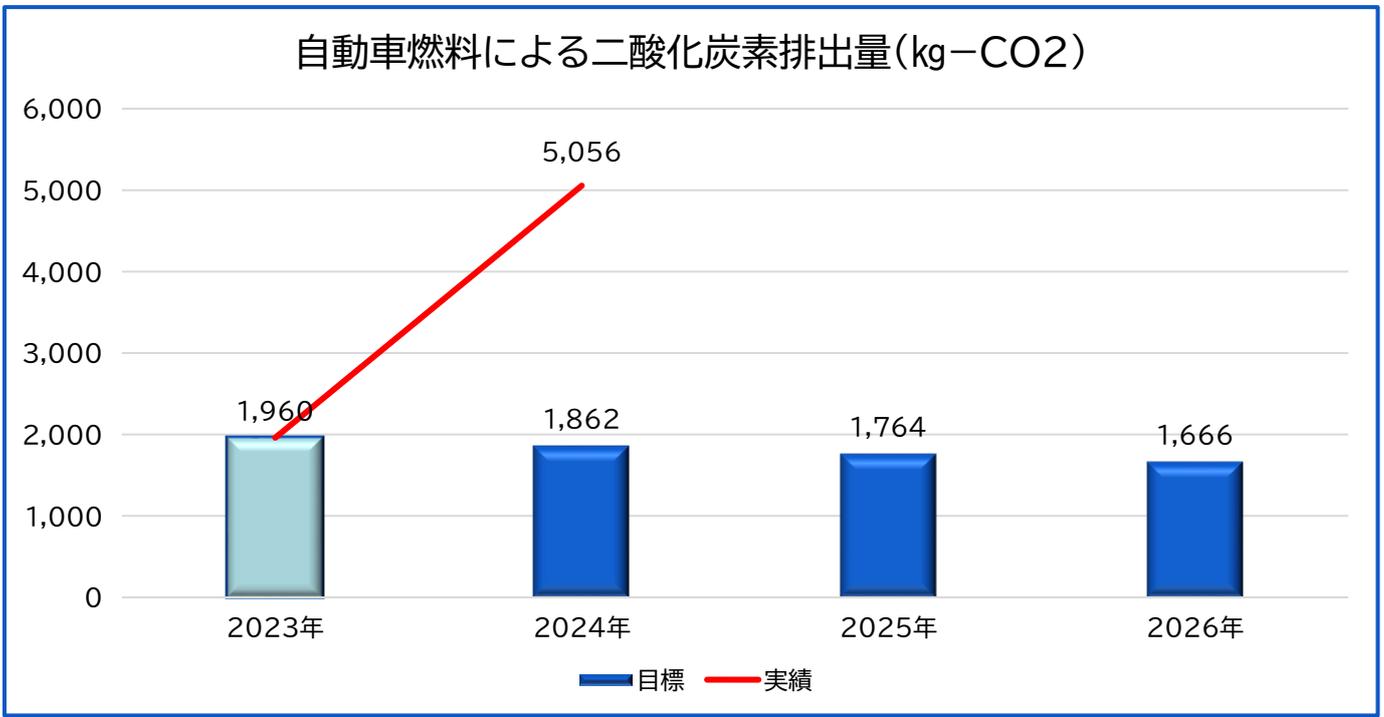


環境経営活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の削減(電気・事務所)			
空調温度の適正化(冷房 28℃暖房 20℃)	△	夏場は猛暑で適正温度を厳守出来ませんでした	全取組を継続して実行する。なお、目標を達成できなかったため不要照明の消灯や空調温度の適正化を確実に実行するために工夫し目標達成できるよう取り組みを実行する。
不要照明の消灯・こまめな消灯	△	まだ、トイレの消し忘れが目立つ	
扇風機と併用して空調機を使用する	◎	ほぼ確実に実行できた	
照明機器・空調機のフィルター清掃	△	天井取付の照明以外実行できた	
電気使用量削減に繋がる社員教育	◎	気付いた時点で都度声がけし実行した	

◎…実行できた △…ほぼ実行できた ×…実行出来なかった



【自動車燃料による二酸化炭素の排出量の削減】



*CO2 排出係数は、2022 年 2.320 kg-CO2/kwh を使用しました。

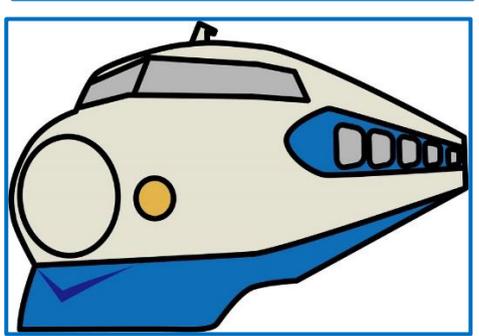
アイドリングストップ・エコ運転の実施



最短ルートでの営業活動



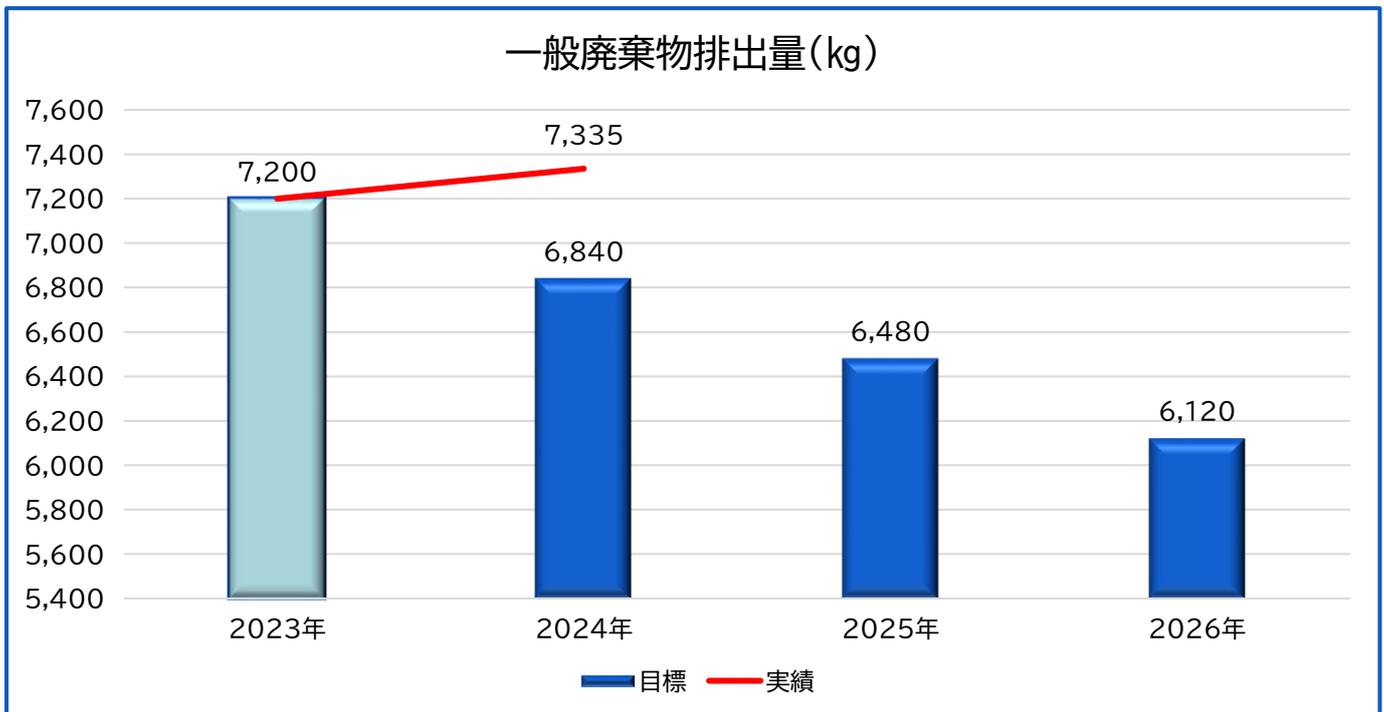
公共の交通機関を上手く利用し削減



環境経営活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減			
アイドリングストップ	◎	運転時に都度意識し実行した	全取組を継続して実行する。なお、二酸化炭素排出量が大幅に多くなったので今一度削減に繋がるように知恵を絞り努力をする。
エコドライブ運転の徹底	◎	急発進・急停車などを意識し実行した	
営業活動は最短ルートで効率よく回る	◎	地図とネット検索を上手く活用した	
公共の交通機関との併用	△	経費も考え社用車移動と併用した	
削減に繋がる社員の意識向上	◎	社用車での同行時の会話に盛り込んだ	

◎…実行できた △…ほぼ実行できた ×…実行出来なかった

【一般廃棄物排出量の削減】



コピー用紙は両面使用後にシュレッダーし梱包材として再利用しています

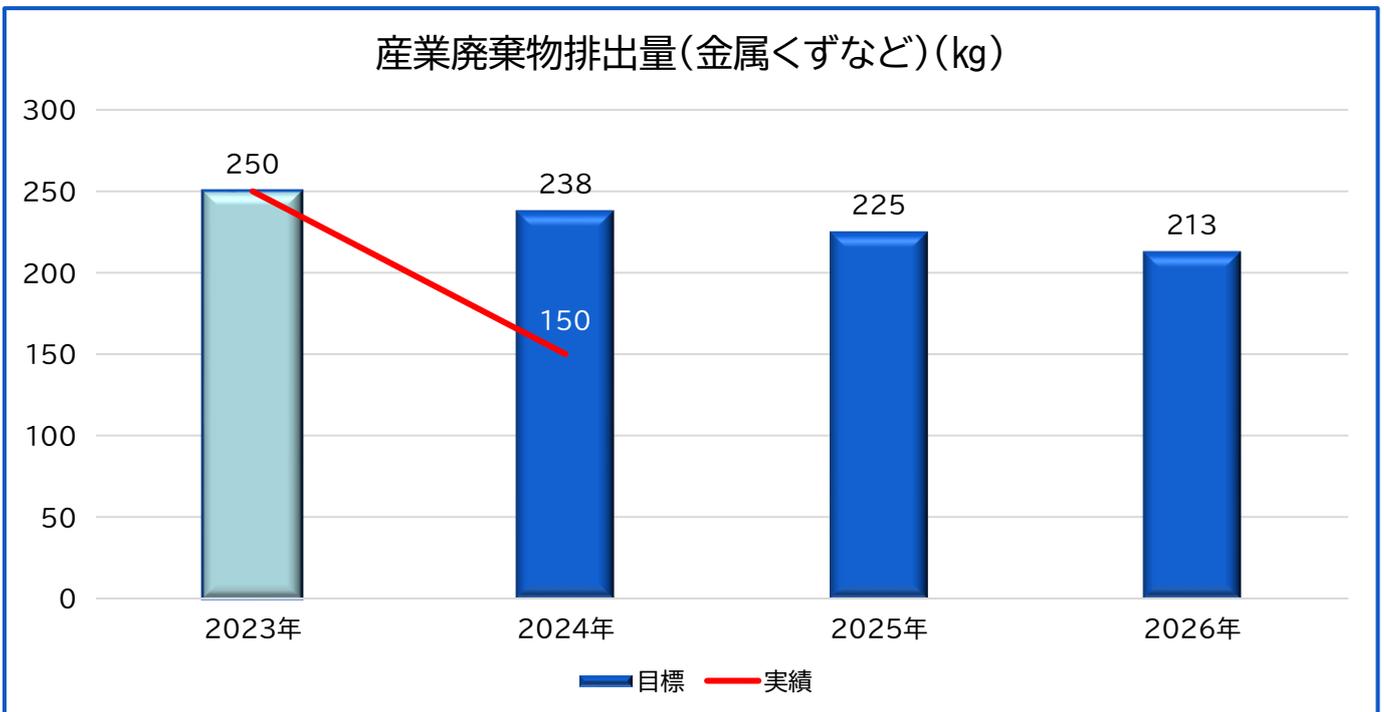
使用なくなった棚を再利用してゴミ置き場に設置



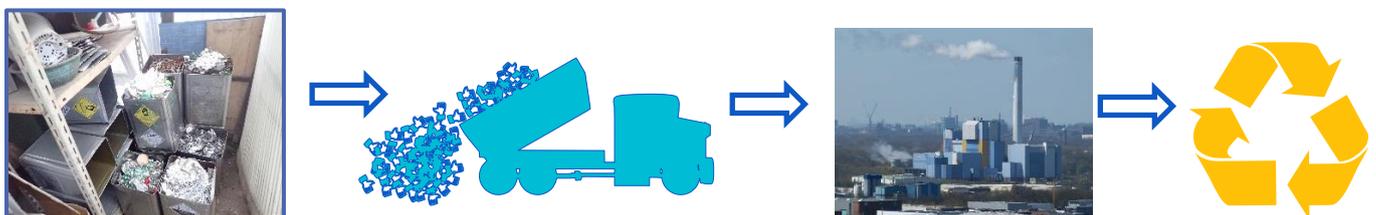
環境経営活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
一般廃棄物排出量の削減			
各個人が責任を持って分別の徹底	△	プラゴミ分別の徹底が確実ではない	全取組を継続して実行する。 なお、廃棄物の排出量が年々増加している ので、削減の見直し・社員教育で指導を し、取り組みを実行し削減に務める。
3S 活動の徹底	△	まだ数名が出来ていない人がいる	
廃棄量の記録表の記入漏れを無くす	△	まだ、確実に実行出来ていない	
帳票見直しによる印刷物の削減	△	全帳票のデジタル化は厳しい	
削減に繋がる社員教育	△	意識して取り組んだ	

◎…実行できた △…ほぼ実行できた ×…実行出来なかった

【産業廃棄物排出量の削減(金属くずなど)】



*産業廃棄物(金属くずなど)は、処理委託で処分しています。



弊社から排出した金属くずなどは、中間処分場で処理を終え最終的に資源化され再利用されています。

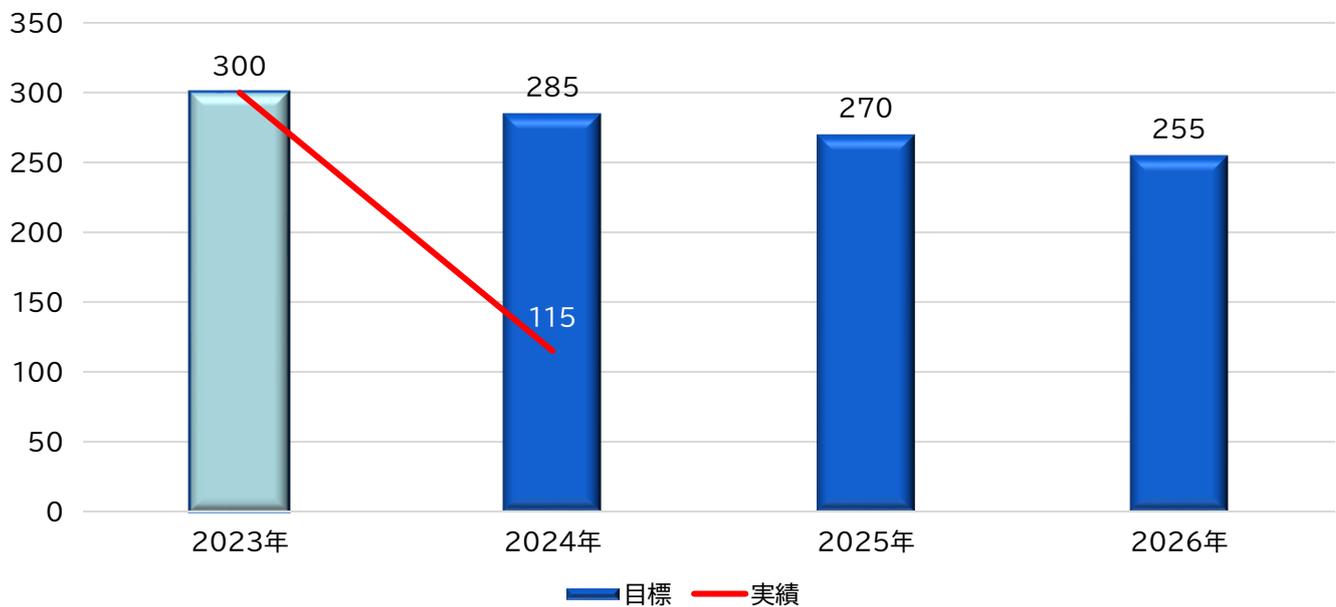
環境経営活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
産業廃棄物排出量の削減(金属くずなど)			
各個人が責任を持って分別の徹底	◎	実行できた	全取組を継続して実行する。 なお、廃棄物置き場の整理整頓がスムーズに行えるよう配置を考えスマートな配置に変更する。
3S 活動の徹底	△	整理・整頓が出来ていない人がある	
保管の徹底	◎	確実に実行できた	
マニフェストの確実な登録	◎	休日の場合はスマートフォンから登録した	
削減に繋がる社員教育	△	意識して取り組んだが確実ではない	

◎・・・実行できた △・・・ほぼ実行できた ×・・・実行出来なかった

【特別産業廃棄物排出量の削減(廃フィルター等)】



産業廃棄物排出量(廃フィルター等)(kg)



弊社は、ワコンナー(イオン交換塔)を使用しているため、現場で使用する水は全て循環水を使用しており排水ゼロを実現しています。ワコンナーで使用済みになった廃フィルターや、めっき処理の際に使用したビニール等は、化学物質が付着しているため保管の際は、ドラム缶にビニールを入れ保管します。また、ドラム缶の下には升を置き液漏れ対策もしています。ドラム缶に蓋も付いていますが強風対策としてさらに板で蓋をして外部への流出を防いでいます。保管と流出防止を徹底しています。

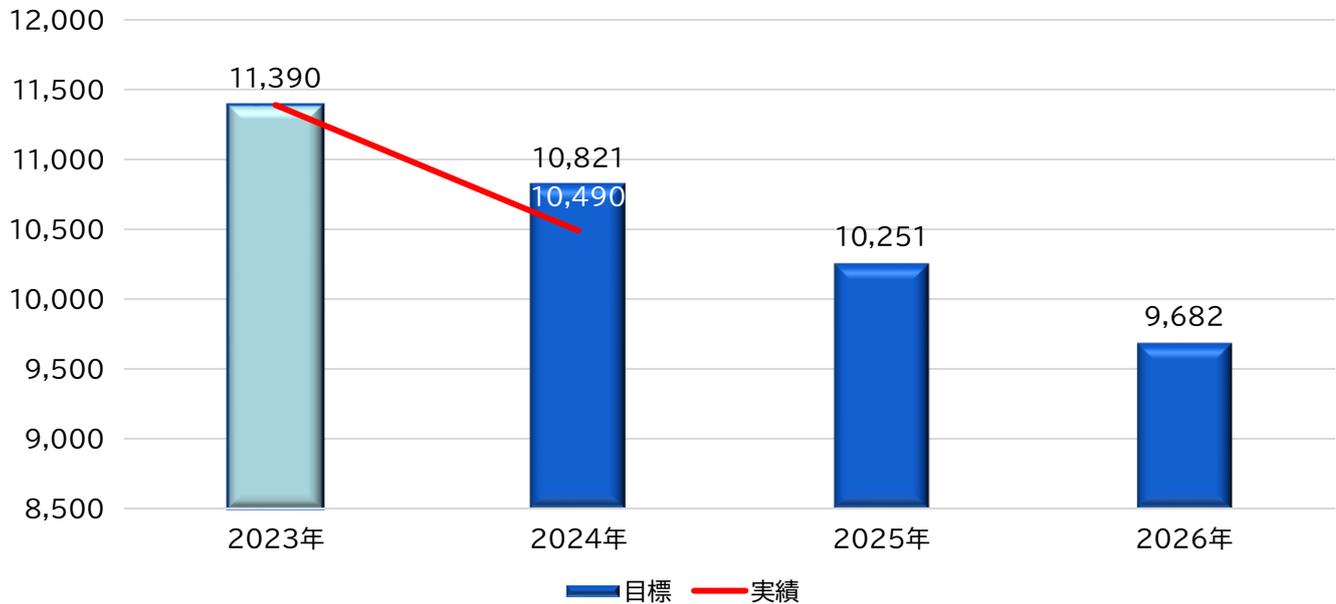
環境経営活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
特別管理産業廃棄物排出量の削減(廃フィルター等)			
各個人が責任を持って分別の徹底	◎	実行できた	全取組を継続して実行する。 なお、削減も達成できているので今年度同様に次年度も意識して全従業員で取り組む。
3S 活動の徹底	◎	確実に実行できた	
保管の徹底	◎	確実に実行できた	
マニフェストの確実な登録	◎	休日の場合はスマートフォンから登録した	
削減に繋がる社員教育	◎	実行できた	

◎…実行できた △…ほぼ実行できた ×…実行出来なかった

【特別産業廃棄物排出量の削減(クロム酸・塩酸廃液)】



産業廃棄物排出量(クロム酸・塩酸廃液)(kg)



クロム酸・塩酸廃液は、FRP の地下ピットで保管しています。
満タンになる前に特別管理産業廃棄物として処理委託。



特別管理産業廃棄物の廃液として定期的にローリーで回収。
適正な処分を行っています。



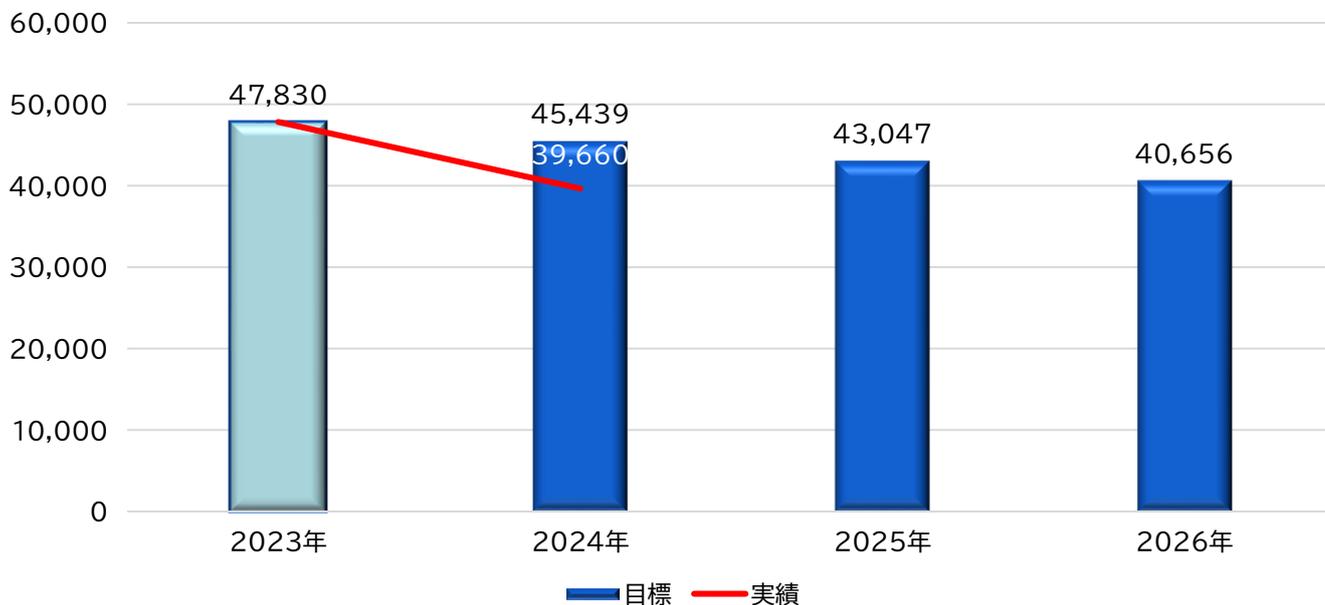
環境経営活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
特別管理産業廃棄物排出量の削減(クロム酸・塩酸廃液)			
各個人が責任を持って分別の徹底	◎	実行できた	全取組を継続して実行する。
3S 活動の徹底	◎	確実に実行できた	なお、削減も達成できているので今年度
保管の徹底	◎	確実に実行できた	同様に廃棄時期の見極めをし、次年度も
マニフェストの確実な登録	◎	休日の場合はスマートフォンから登録した	意識して削減に繋がるよう全従業員で取
削減に繋がる社員教育	◎	実行できた	り組む。

◎…実行できた △…ほぼ実行できた ×…実行出来なかった

【特別産業廃棄物排出量の削減(アルカリ廃液)】



産業廃棄物排出量(アルカリ廃液)(kg)



アルカリ廃液は、FRP の地下ピットで保管しています。満タンになる前に特別管理産業廃棄物として処理委託。

年に 1 回は、処分場の現地視察へ行き確認しています。今年度は、12 月 13 日に飯山陸送さんへお伺いしました。



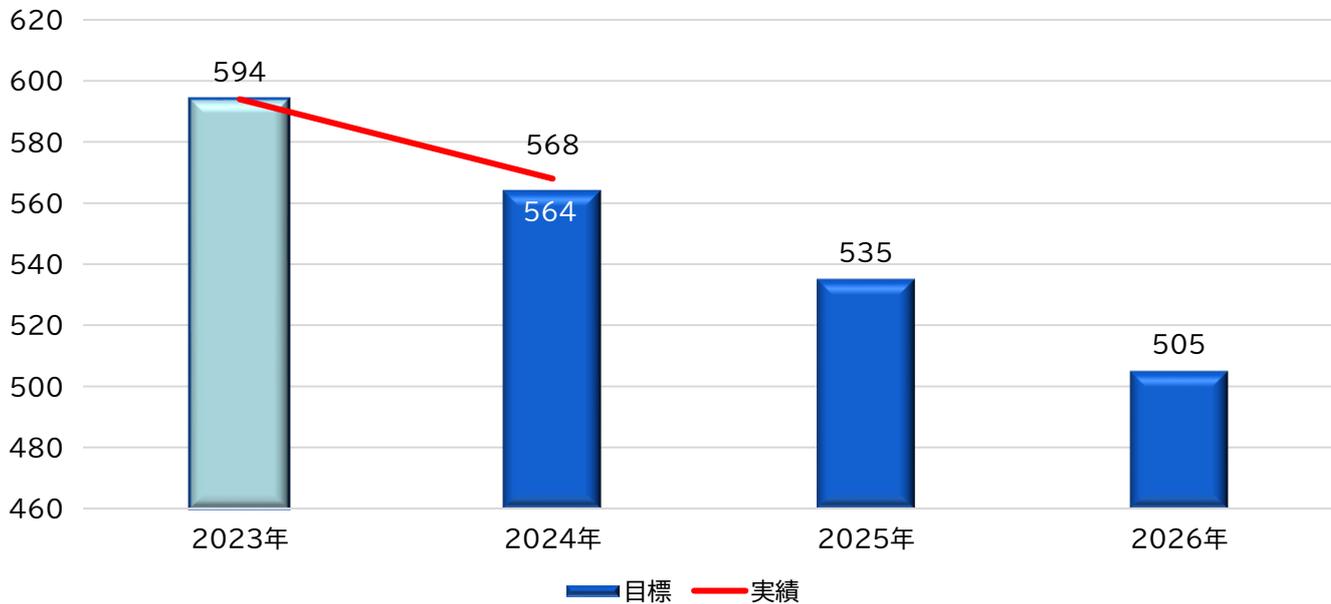
環境経営活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
特別管理産業廃棄物排出量の削減(アルカリ廃液)			
各個人が責任を持って分別の徹底	◎	実行できた	全取組を継続して実行する。
3S 活動の徹底	◎	確実に実行できた	なお、削減も達成できているので今年度同様にアルカリ交換時期の見極めをし、次年度も意識して削減に繋がるよう全従業員で取り組む。
保管の徹底	◎	確実に実行できた	
manifests の確実な登録	◎	休日の場合はスマートフォンから登録した	
削減に繋がる社員教育	◎	実行できた	

◎…実行できた △…ほぼ実行できた ×…実行出来なかった

【水使用量の削減】



水使用量の削減(m³)



社内全ての蛇口に「節水」ステッカーを貼って「節水」を実行！！

トイレ使用时、「小便是小で流しましょう」ステッカー！！



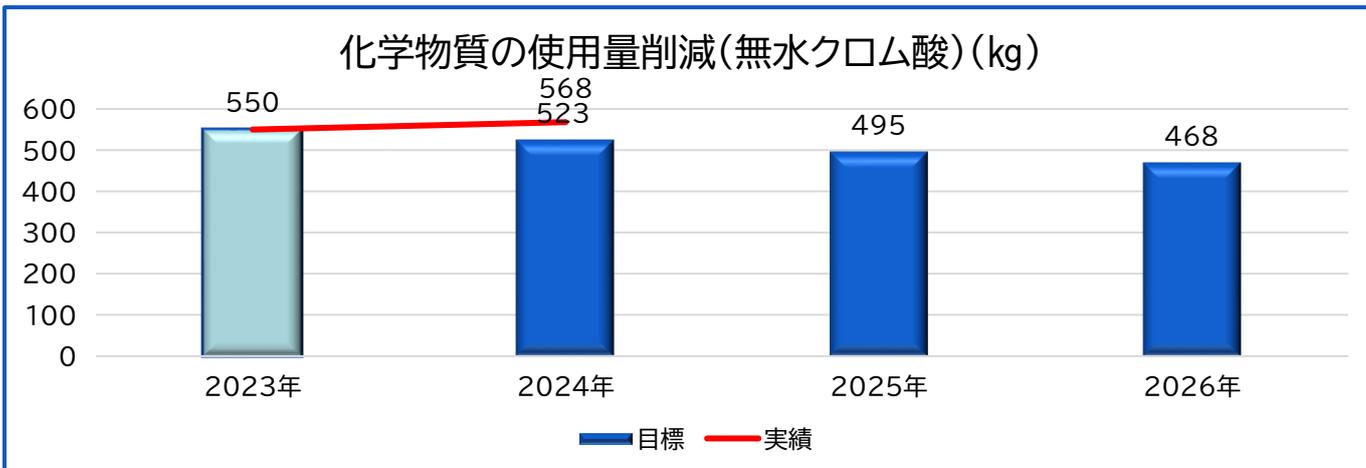
全従業員にアンケートを取ったところ、男性はトイレ使用後に、小便も大便も「大」で流すことが分かりました。今は自動で流れるトイレもありますが、弊社のトイレは手動なので、トイレ使用後に小便は「小」で流すことを徹底すれば節水に繋がります。

環境経営活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
水使用量の削減			
再度節水シールの貼り付けとポスター掲示	△	まだ必要な箇所がある	全取組を継続して実行する。 なお、多少の削減は出来たが、まだまだ削減への努力は出来ると思われるので、節水への活動を確実に実行し削減に努める。
無駄遣いをしている人に声がけをする	△	声がけを出来ない人がいる	
トイレ使用时小便は小で流す	◎	実行できたと思いたい	
水使用量を把握し見直しを行う	△	ゲリーカーテンを中止し遮光シートを活用した	
節水に繋がる社員教育	◎	実行できた	

◎…実行できた △…ほぼ実行できた ×…実行出来なかった



【化学物質の使用量削減(無水クロム酸)】

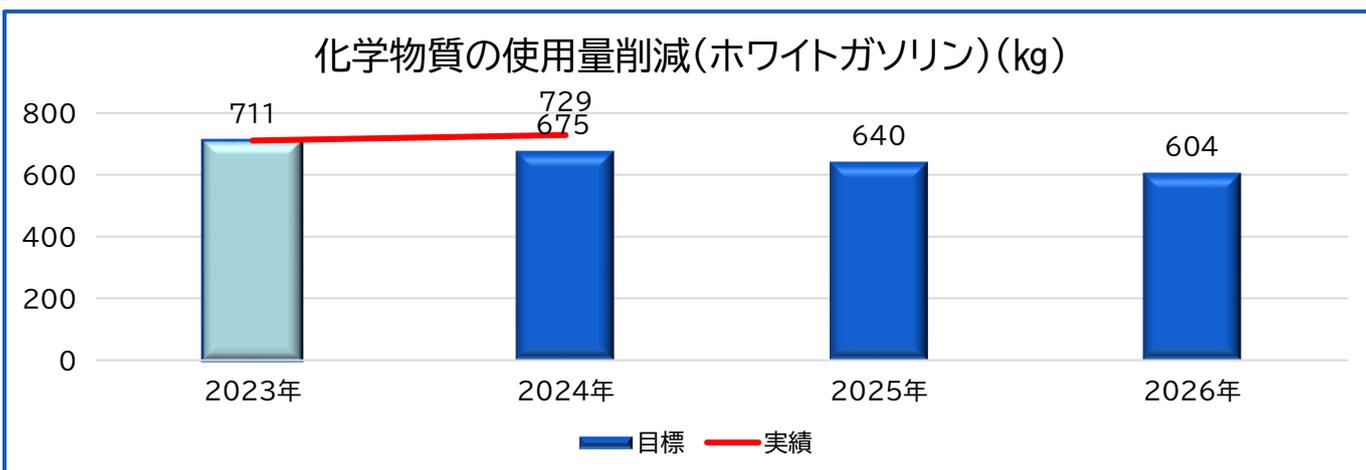


環境経営活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
一般廃棄物排出量の削減			
使用量記録表の記録漏れを無くす	◎	責任者の努力のお陰で記入漏れゼロ	全取組を継続して実行する。 なお、多少増加したので、増加した要因を探り少しでも削減できるよう取り組みを実行する。
SDSに基づく使用時の注意の徹底	△	まだ、確実とは言えない状況に見える	
保管庫の3S活動の徹底	△	清掃が完全でないように思える	
保管の徹底管理	◎	確実に実行できた	
化学物質使用量削減に繋がる社員教育	△	使用に関する教育は出来ている	

◎…実行できた △…ほぼ実行できた ×…実行出来なかった



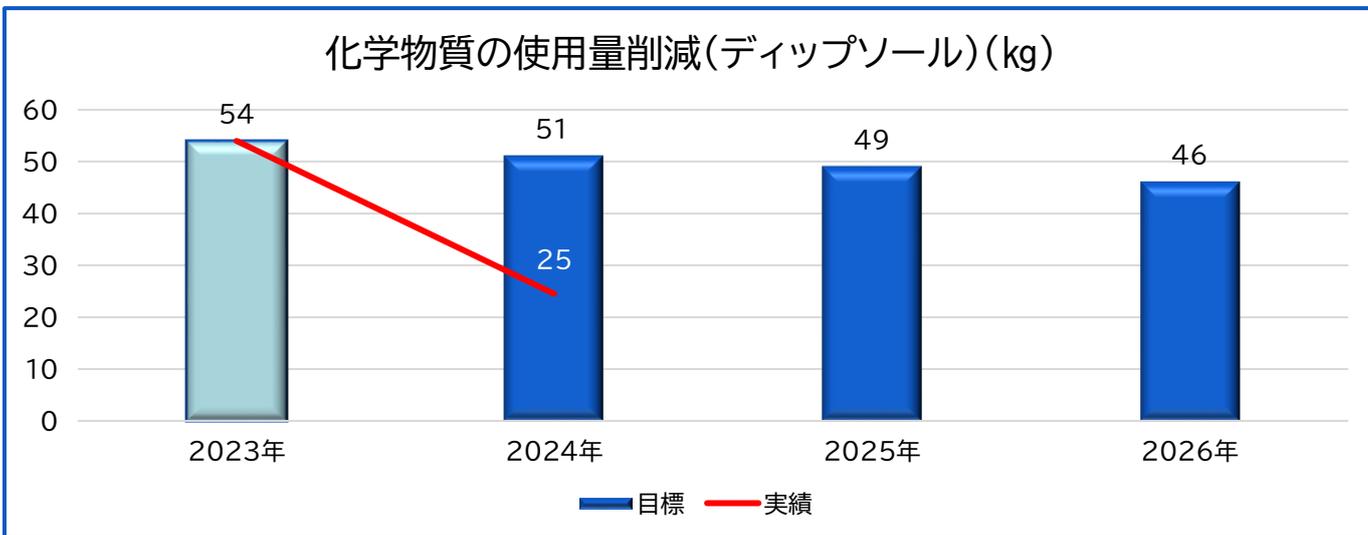
【化学物質の使用量削減(ホワイトガソリン)】



環境経営活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
化学物質使用量の削減(無水クロム酸)			
使用量記録表の記録漏れを無くす	◎	責任者の努力のお陰で記入漏れゼロ	全取組を継続して実行する。 なお、多少増加した。品質向上の上では増加は仕方ないので、徹底管理に重点を置き取り組みを実行する。
SDSに基づく使用時の注意の徹底	△	まだ、確実とは言えない状況に見える	
保管庫の3S活動の徹底	◎	確実に実行できている	
保管の徹底管理	◎	確実に実行できた	
化学物質使用量削減に繋がる社員教育	△	使用に関する教育は出来ている	

◎…実行できた △…ほぼ実行できた ×…実行出来なかった

【化学物質の使用量削減(ディップソール)】



保管庫の鍵は担当責任者が管理し、責任者承諾のもとに使用することが出来るシステムです。(徹底管理)

転倒防止

有機溶剤の保管庫は屋内に設置。使用の際は、必ず責任者を通して鍵を開けます。(徹底管理)

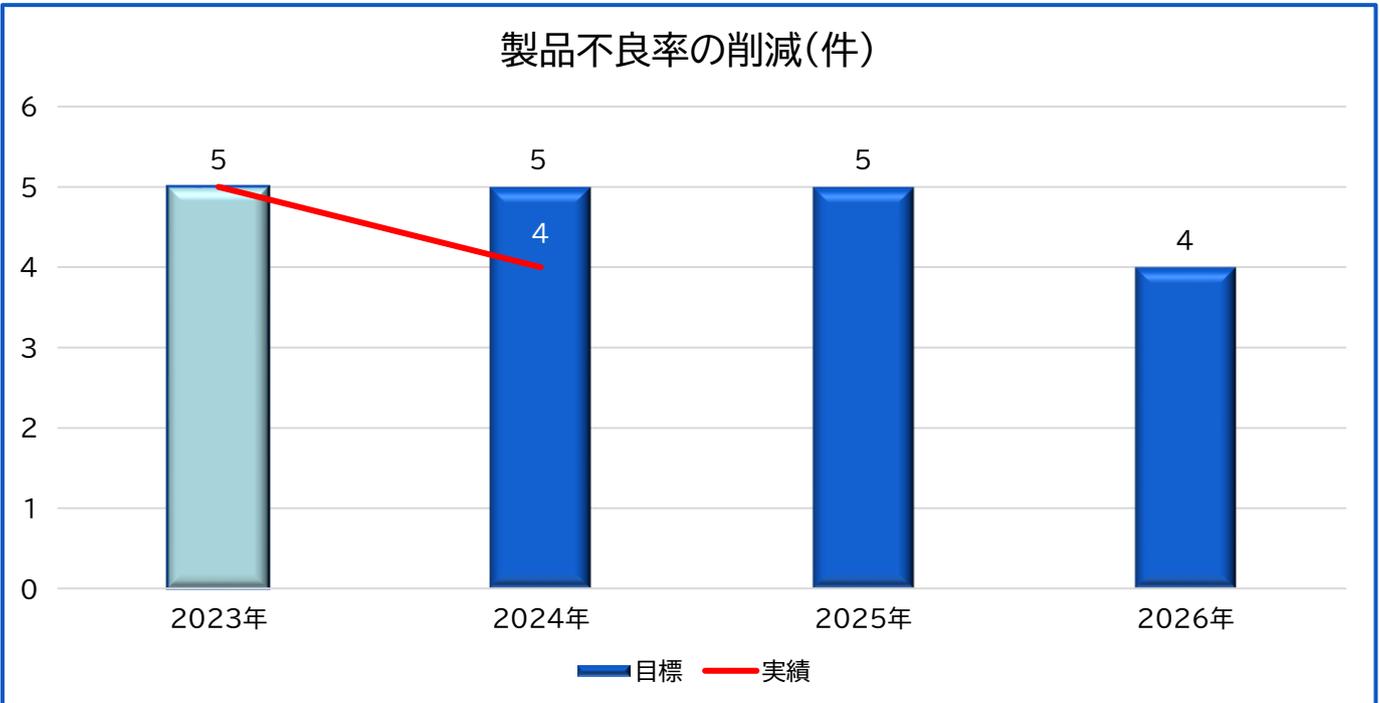
化学物質使用の際は、担当責任者へ報告し責任者は使用量を記録表に記入。月末には棚卸を実施しています。

化学物質を使用する際は、必要に応じて保護具を着用しています。ゴム長靴・超強力ビニロン前掛け・有機溶剤用マスク・ビニール手袋・ゴーグル。

環境経営活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
化学物質使用量の削減(ディップソール)			
使用量記録表の記録漏れを無くす	◎	責任者の努力のお陰で記入漏れゼロ	全取組を継続して実行する。
SDSに基づく使用時の注意の徹底	△	まだ、確実とは言えない状況に見える	なお、次年度は、確実に実行されていない目標に重点を置き取り組みを行い、全て◎になるよう努力する。
保管庫の3S活動の徹底	△	清掃が完全でないように思える	
保管の徹底管理	◎	確実に実行できた	
化学物質使用量削減に繋がる社員教育	△	使用に関する教育は出来ている	

◎…実行できた △…ほぼ実行できた ×…実行出来なかった

【製品不良率の削減】



【不良対策】

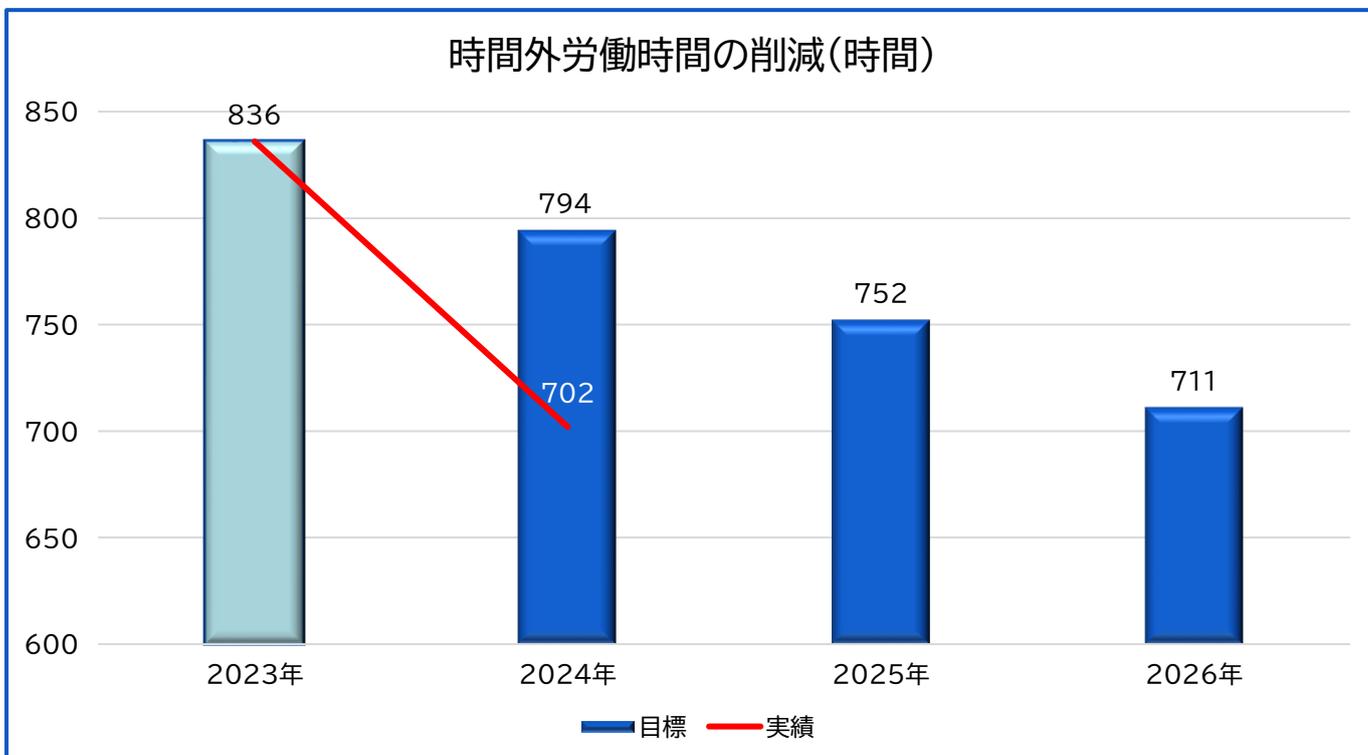
製品入荷時の外観検査を徹底することにより、事前に不良対策が出来るようになりました。また、得意先より錆や汚れた製品が入荷したとのクレームを受けた際も、出荷時の外観検査の徹底と改善策を社内で話し合いを持つことで再発防止に繋がり不良率削減になっています。



環境経営活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
製品不良率の削減			
製品不良発生時の報告の徹底	◎	都度の報告を受けるようになった	全取組を継続して実行する。 なお、削減も達成できているので更に他部署間も含めコミュニケーションを取りながら削減に邁進する。
顧客へのフォローや報告の徹底	◎	都度対応し、フォローも徹底している	
作業ミスの改善	◎	同じミスの発生が無くなった	
製品不良発生時の改善策相談の徹底	◎	都度、報告と相談し改善している	
製品不良率削減に繋がる社員教育	◎	責任者がコミュニケーションを取り実行	

◎…実行できた △…ほぼ実行できた ×…実行出来なかった

【時間外労働時間の削減】



コミュニケーション不足が作業効率を低下させる要因の一つと考え、今年度は、他部署間交流として食事会を開催した。全従業員が集まる席では同じ部署の人達が集まってしまうことも多いが、他部署間交流では普段なかなか話さないような人と交流することができ、食事後には上手くコミュニケーションが取れるようになった人もいました。食事会の席では、スムーズに仕事が回せることへの提案や、他部署に対する要望など様々な意見の交換ができた。全従業員の交流としては送別会・忘年会の開催。また、忘年会では盛り上がってきた頃合いを見て席移動をし、交流を促した。しかし、まだ仕事に生かされていない人も見受けられるので、コミュニケーションの更なる向上を目指し違う方法も盛り込みたいと思います。

環境経営活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
時間外労働時間の削減			
作業効率を考え仕事に取り組む	△	忙しい時には実行出来ない人もいる	全取組を継続して実行する。 なお、コミュニケーションが不足しているように見受けられるため、上に立つ者が率先して声がけするなど状況に応じてアドバイスをする。
優先順位を決めて段取りを作る	△	状況の変化時にはなかなか厳しい	
一定の人に仕事が集中しない様助け合う	◎	出来る人は手助けをした	
コミュニケーションを取る	△	確実とは言えない状況	
時間外労働時間の削減に繋がる社員教育	△	まだまだ改善の余地ありと判断	

◎・・・実行できた △・・・ほぼ実行できた ×・・・実行出来なかった

環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される主な環境関連法規は下記の通りで、これらへの違反はありませんでした。

なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

適用環境関連法規等	適用される事項 (事業活動・施設・物質など)	遵守状況の確認・評価
北区廃棄物条例	事業系一般廃棄物	事業系廃棄物シール使用
廃棄物処理法	多量排出事業者	電子マニフェスト管理
毒物及び劇物取扱法	無水クロム酸など	届出確認・表示板設置
東京都環境確保条例	工場認可・表示板設置	現況届提出・表示板等確認
東京都環境確保条例	化学物質適正管理	届出提出・表示板設置
下水道法	ワコンナーなど	設置届・変更届など提出
水質汚濁防止法	有害物質使用特定施設	届出提出
土壤汚染対策法	電気めつき施設	申請書提出
大気汚染防止法	スクラバー・社用車	設置届・車検
騒音規制法	スクラバー	設置届
消防法	消防管理者の選任・消防用設備の点検他	責任者選任・届出・点検結果報告提出
リサイクル法	家電リサイクルなど	簡易点検記録表保管

代表者による全体の評価と見直し

項目	評価	見直し
 二酸化炭素排出量	ガソリン使用量が大幅に増加し、他は緩やかだが削減出来ている。	引き続き取り組みを実行する。 増加の要因は明らか次年度検討する。
 廃棄物排出量	一般廃棄物は大幅に増加した。 産業廃棄物は削減したが目標までとどかず。	全従業員の一般廃棄物に対する取組 を今一度徹底する教育を行う。
 特別管理産業廃棄物排出量	廃液の排出量は多少削減できた。 交換時期・回収時期の見直しが削減に繋がった。	引き続き上手く回収サイクルを組み 削減に努める。
 水使用量	多少削減したが目標にはとどかず。 全社員の節水に対する認識も出来ている。	引き続き取組を実行する。
 化学物質使用量	ホワイトガソリン以外は削減出来た。 不良を出さないよう前処理の徹底をした結果。	徹底管理や取扱いの遵守に重点を置き 取り組みを実行する。
 課題とチャンス (時間外労働時間の削減)	削減した。 効率よく作業に取り組んだ結果と思われる。	作業効率を考え削減に務める。
 本業に関わる継続的な環境改善 (製品不良率削減)	削減した。従業員の意識向上の結果と思われる	引き続き取り組みを実行する。 今一度、気を引き締め丁寧な処理をし 削減に努める。

ガソリンの使用量が大幅に増加した。日々の荷物の受け取りに社用車で出向くことと、社内研修が終了した営業の積極的な営業活動が要因と思われる。次年度を見て基準年度の見直しも検討する。

第一化学工業株式会社の主な取り組み・環境経営活動



【工場からの排水ゼロへ】

2006年12月イオン交換樹脂塔(ワコンナー)を導入。めっき処理の際に使用する水は全てイオン交換樹脂塔で有害物質を完全に除去し、純水に変え工場へ戻し再利用(循環)を図ることで公共下水道への排水をゼロにしました。なお、イオン交換樹脂塔で回収された有害物質は定期的によりサイクルセンターで回収し中和・還元処理され再利用しています。



社屋の屋上にスクラバー



【有害な排気をゼロへ】

めっき処理の作業に使用する化学物質(強酸や強アルカリ)などは、作業中に有害なガス(ミスト)を発生します。それは人体に極めて有害なガスですが、弊社では従業員の作業環境改善と周辺への環境保全を図るため、作業中に発生する有害なガスを排風機で屋上へ吸い上げ、排ガス洗浄装置(スクラバー)で取り除き、無害・無臭のきれいな状態にして大気に放出しています。強力な排風機を使用していますので、工場内外に化学物質などの臭いは全くありません。



【スクラバーの洗浄】

スクラバー廃液回収に合わせスクラバーの内側を洗浄しています。スクラバーの廃液はローリーで回収され処理業者に特別産業廃棄物として処理委託。

【スクラバー廃液回収】

屋上のスクラバー廃液はパイプを通し1階から半年に1度回収します。

第一化学工業株式会社の主な取り組み・環境経営活動



【特別管理産業廃棄物最終処分場現地視察】
2024年12月13日(金)に長野県の飯山陸送さんへ現地視察に行ってきました。前回訪問した時にお話しにも出ていた新しい廃棄場所に伺いました。地元の方の協力や理解が重要なことを現地に伺うと実感します。

【マニフェストの電子化】

2020年4月から紙のマニフェストから電子マニフェストに変更しました。廃棄物の移動や処分の管理、行政への報告が簡易的になりました。



【熱風乾燥機を変更】

長年使用していた熱風乾燥機を乾燥機能付きのベーキング炉に変更しました。電気使用量も削減できると期待しています。



【リスクアセスメント】

化学物質を使用する弊社は、化学物質管理者講習を受講した者を責任者に選任し、マトリクス法によるリスクの見積もりを全化学物質においてファイリングし全従業員で共有し、リスクアセスメント結果を全従業員への周知に活用しています。



【保護具着用】

化学物質を使用する際は、必要に応じて保護具を着用しています。ゴム長靴・超強力ビニロン前掛け・有機溶剤用マスク・ビニール手袋・ゴーグル。また、表示板を設置し責任者も選任しています。



第一化学工業株式会社の主な取り組み・環境経営活動

【防災袋】

全従業員に配布している防災袋の中身をチェック・点検。水・乾パン・乾電池など新しくしました。



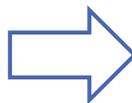
【防災対策】

2024年8月8日、気象庁の南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)発表を受け、社内の責任者を集め「災害対策マニュアル」に基づき緊急時対応について話し合いの場を設け、従業員にも報告した。また、化学物質の流出を防ぐため使用するブルーシートなどの在庫確認をし、災害に備えました。



【AED講習】

セコムさんを講師に招いて全従業員でAED講習を受講しました。人命救助は簡単な事ではないことを実践で学べましたが、実践の機会がない事が一番。



【水使用量の削減に努めて】

毎年5月初旬からグリーンカーテン栽培に努めていましたが、猛暑の影響で思うように育成せず、遮熱フィルムに変更しました。一日2回の水撒きが無くなり水使用量の削減にもなります。

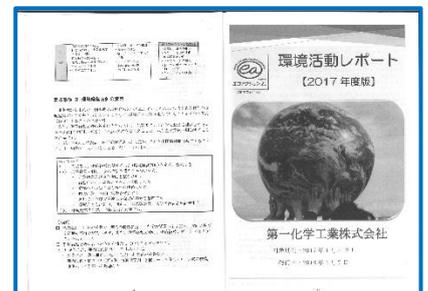
2018年9月6日 環境省主催のセミナーに登壇



2018年9月6日(木)新橋で行われた、エコアクション21セミナー「環境経営で企業を発展させる」において【わが社におけるエコアクション21の取組】と題して事例発表をさせていただきました。講演者、事例発表事業者と共にパネルディスカッションにも参加し、意見交換もさせていただきました。

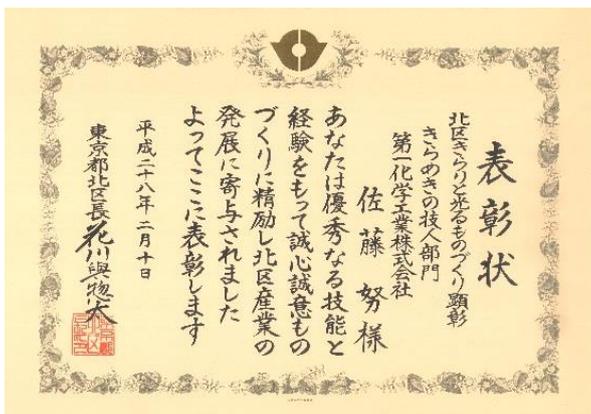
2017年度 環境活動レポート掲載

第13回エコアクション21全国交流研修会 in 東京が、2018年10月12・13日の両日ベルサール神田で行われ、その際に使用するテキストに我社の環境活動レポートを掲載されました。



平成27年度「北区きらりと光るものづくり顕彰」きらめきの技人部門受賞

区内の優れた企業活動・技能・技術などを顕彰し、北区の「ものづくり」の素晴らしさを広く内外にPRすることを目的とした【北区きらりと光るものづくり顕彰】にて、きらめきの技人部門の受賞をしました。



「北区きらりと光るものづくり顕彰」授賞式

日時:平成28年2月10日
 場所:北とぴあ
 東京都北区長の花川與惣太氏より授賞企業・授賞者へ授与が執り行われ、授賞式の後には、懇親会が開かれ授賞企業との親交も深まりました。



日刊工業新聞に掲載されました。



平成 29 年度全国めっき技術コンクール

第 55 回全国鍍金工業組合連合会 全国中小企業団体中央会長賞 受賞

第 55 回全国鍍金工業組合連合会にて、

全国中小企業団体中央会長賞 硬質クロムめっき部門を受賞いたしました。



令和元年度「北区きらりと光るものづくり顕彰」きらめきの技人部門受賞

区内の優れた企業活動・技能・技術などを顕彰し、北区の「ものづくり」の素晴らしさを広く内外に PR するところを目的とした【北区きらりと光るものづくり顕彰】にて、きらめきの技人部門の受賞をしました。





【東京都北区 SDGs 推進企業認証制度】

東京都北区では、「北区ゼロカーボンシティに向けて」色々な取り組みを行い達成するためには事業者の積極的な環境活動が不可欠。大企業のみならず中小企業にも脱炭素経営が求められていることから、「東京都北区 SDGs 推進企業認証制度」を設け認証審査会で審査し認証の可否を決定されます。弊社は、令和 7 年 1 月 8 日付で「北区 SDGs 推進企業」として認証されました。また、社内では、責任者を集め「企業のメンタルヘルス・ハラスメント対策」について話し合い、コミュニケーションの重要性を改めて周知しました。今後も、更なる取り組みを実践し SDGs の 17 の目標 & 169 のターゲット達成に尽力します。

おわりに

2011 年のエコアクション21の認証・登録から 13 年となりました。東京都北区 SDGs 推進企業認証もされ、再度気を引き締めて取り組みを実施します。弊社は、毎年、赤十字社への寄付や地元の神社の秋祭りの際も寄付をしていますが、人道的支援(ボランティア)への取り組みが実行されていないため、今後は、積極的に地域活動への参加に取り組みたいと考えております。そのために、全従業員への教育・周知を図り、全従業員が地域社会へ貢献することの意味や大切さを理解し納得して、自ら積極的に参加するよう意識向上できる仕組みの構築に努めます。